

3. 広域連携と今後の展開方針

(1) 伝承地域の評価

今回調査した 34 の伝承地域の 53 資源について、文化資源的な価値として、「もの」「場所」「人」の 3 つの要素に着目し、現状を整理した。さらに、それらの資源が、観光客に対して一定の受け入れ施設やサービスの提供等を行っているかどうかについても整理を行い、この両面から 調査対象地（アイヌ文化伝承地）の評価を試みた。

すなわち、アイヌ文化伝承地域は、アイヌ文化資源（もの、場所、人）を基本資源として成立しているが、それに加え、これらの資源を何らかの形で観光客に提供し、一定の対価を得ることも、アイヌ文化の継承や地域経済への貢献という意味で非常に重要と考えられる。

このような視点から、アイヌ文化伝承地域が、今後、観光とどのような形で向き合うことが、望ましいアイヌの文化の継承につながり、また観光の発展にも寄与するのかを考察した。

図 3-1 アイヌ文化伝承拠点地域の概念図

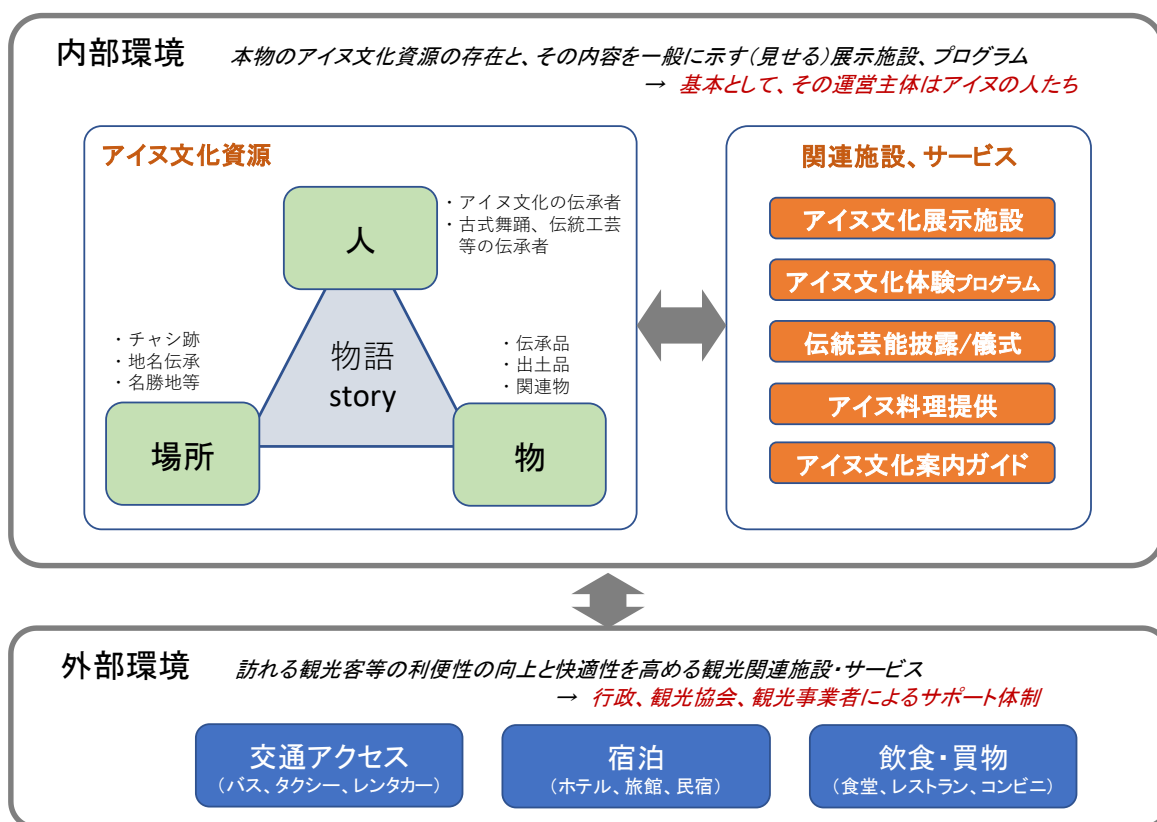


表 3-1 調査対象の伝承地域の区分と評価 1/2

エリア・市町村／調査対象番号 (番号なしは今回の調査対象外の自治体、主な資源)				アイヌ文化に関する資源の名称 (文化財、展示施設、伝承団体等)	資源区分/資源の内容	アイヌ文化資源区分			アイヌ文化の関連施設、サービス				
						もの (伝承品、出土品、関連物)	場所 (チャン跡、地名伝承地、名勝等)	人 (古式舞踊、伝統工芸等の伝承者)	展示施設	体験プログラム (切り絵、ムツクリ演奏等)	案内ガイド	伝統芸能披露/儀式	アイヌ料理
道央	石狩	札幌市	1	札幌市アイヌ文化交流センター (サッポロピリカコタン)	もの・人/展示施設・伝統工芸	○		○	○	○	○	○	市内にアイヌ料理を提供する店あり (旧アイヌ民族博物館監修)
			2	北海道博物館	もの/展示施設・伝承品・出土品	○			○	-	○	-	
			—	北海道大学植物園 博物館	もの/展示施設・重要有形民俗文化財アイヌのまるきぶね	○			○	-	-	-	
	2	江別市	3	北海道立埋蔵文化財センター	もの/展示施設・重要文化財美々8道跡出土品	○			○	-	○	-	
	3	石狩市	4	名勝ピンネタイオルンベ＝黄金山	場所/名勝ピリカノカ		○		-	-	-	-	-
	胆振	4	豊浦町	5 名勝カムイチャシ(カムイチャシ史蹟公園)	場所/名勝ピリカノカ		○		-	-	-	-	-
		5	室蘭市	6 名勝絵額半島外海岸 (えとはんとうそとかいがん)	場所/名勝ピリカノカ		○		-	-	-	-	-
		6	登別市	7 銀のしずく記念館	もの/展示施設・伝承者	○			○	-	○	-	-
				8 アフナルパル	場所/地名伝承地		○		-	-	-	-	-
		7	白老町	9 アロコ海岸(名勝ピリカノカ候補地)	場所/チャン跡、地名伝承地		○		-	-	-	-	-
				10 民族共生象徴空間(ウポロイ) 国立アイヌ民族博物館	もの・人/展示施設、伝承品・重要無形民俗文化財アイヌ古式舞踊	○		○	○	○	○	○	旧アイヌ民族博物館で提供していた
		8	厚真町	11 軽舞道跡調査整理事務所(旧軽舞小学校)	もの/展示施設・出土品・伝承品	○			○	-	○	-	-
				— 桜丘チャン跡	場所/チャン跡		○		-	-	-	-	-
	日高	9	平取町	12 二風谷アイヌ文化博物館	もの・人/展示施設・伝承品	○		○	○	○	○	○	町内にアイヌ料理を提供する店あり
				13 アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	場所/重要文化的景観		○		○	○	○	○	
				14 名勝オキクルミのチャン及びムイノカ	場所/名勝ピリカノカ		○		-	-	-	-	
				15 名勝ボロシ(幌尻岳)	場所/名勝ピリカノカ		○		-	-	-	-	
				16 二風谷工芸館/二風谷民芸組合	もの・人/展示施設・伝統工芸	○		○	○	○	○	○	
				— 萱野茂二風谷アイヌ資料館	もの/展示施設・重要有形民俗文化財北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	○			○	-	○	-	
		10	新ひだか町	17 新ひだか町アイヌ民俗資料館	もの/展示施設・伝承品	○			○	-	-		シャクシャイン法要祭でアイヌ料理試食会(有料)
				18 史跡シベチャリ川流域チャン跡群	場所/チャン跡		○						
				— 地元アイヌの方々(伝承者)	人/重要無形民俗文化財アイヌ古式舞踊			○					
		11	浦河町	19 浦河アイヌ文化保存会	人/重要無形民俗文化財アイヌ古式舞踊			○	-	-	-	要請があれば対応	年3回祈願祭で提供
		12	えりも町	20 名勝オンネエンルム(襟裳岬)	場所/名勝ピリカノカ		○		○	-	-	-	-
道南	渡島	13	函館市	21 函館市北方民族資料館	もの/展示施設・伝承品	○			○	○	○	-	-
				22 史跡志海苔館跡	場所/館跡		○		-	-	-	-	-
				— 市立函館博物館	もの/展示施設・重要有形民俗文化財アイヌの生活用具コレクション・伝承品	○			○	-	○	-	-
		14	長万部町	23 シャクシャイン古戦場跡碑	場所/伝承地		○		-	-	-	-	-
		15	八雲町	24 八雲町木彫り熊資料館	もの/展示施設・伝承品	○			○	-	○	-	-
	16	上ノ国町	25	史跡上之国館跡(勝山館跡)	場所・もの/道跡・展示施設・重要文化財北海道上之国勝山館跡出土品	○	○		○	-	○	-	-

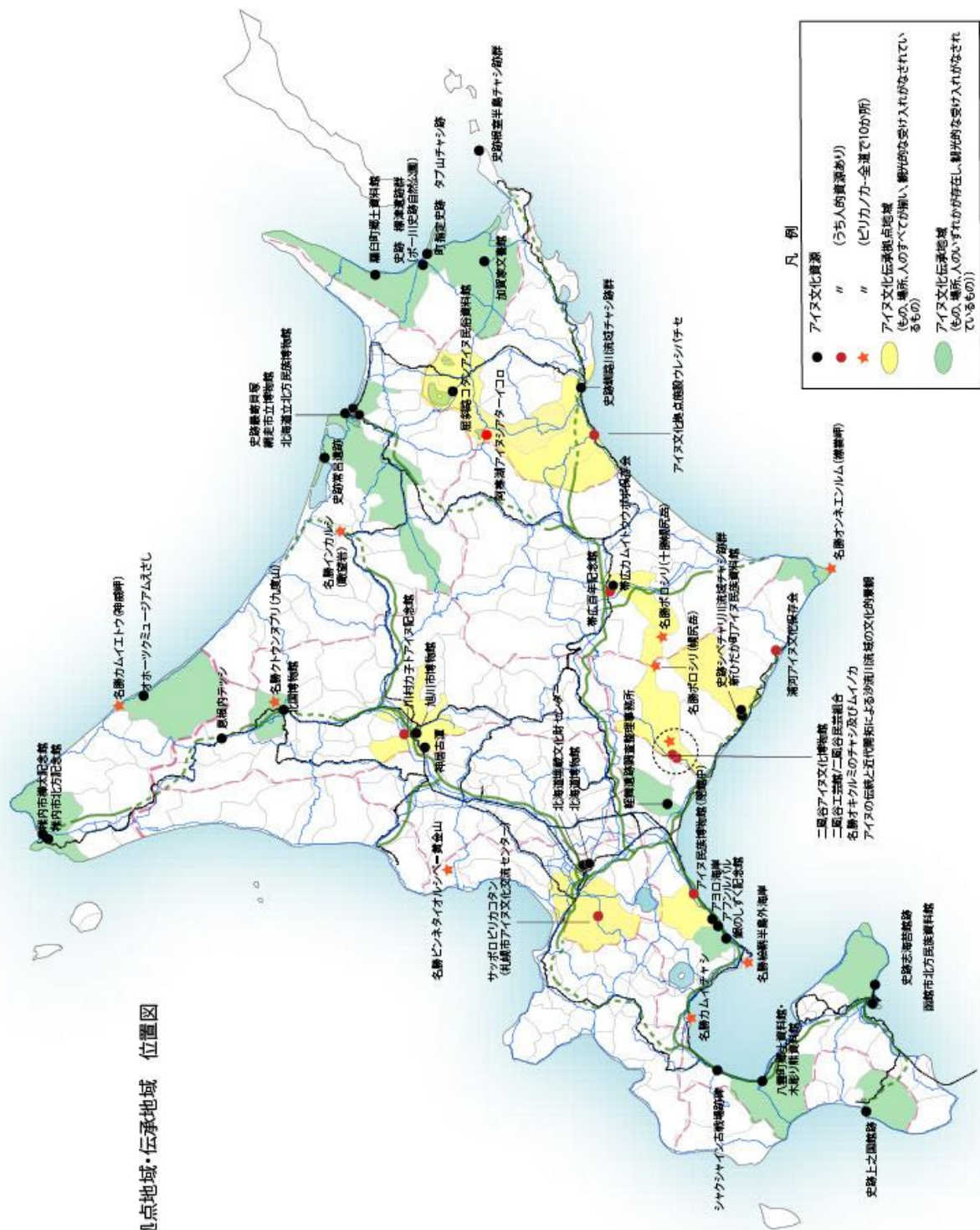
※桃色塗りの市町村は、調査対象の中で、もの・場所・人の文化資源が揃い、観光的な受け入れが考慮されているもの。青色塗りの市町村は、もの・場所・人の文化資源すべてはそろっていないが、観光的な受け入れが考慮されているもの。

表 3-2 調査対象の伝承地域の区分と評価 2/2

エリア・市町村／調査対象番号 (番号なしは今回の調査対象外の自治体、主な資源)				アイヌ文化に関する資源の名称 (文化財、展示施設、伝承団体等)	資源区分／資源の内容	アイヌ文化資源区分			アイヌ文化の関連施設、サービス				
						もの (伝承品、出土品、関連物)	場所 (チャシ跡、地名伝承地、名勝等)	人 (古式舞踊、伝統工芸等の伝承者)	展示施設	体験プログラム (切り絵、ムツクリ演奏等)	案内ガイド	伝統芸能披露／儀式	アイヌ料理
道北	上川	旭川市	26	川村カチトアイヌ記念館	もの・人／展示施設・重要無形民俗文化財アイヌ古式舞踊	○		○	○	○	○	○	-
			27	神居古潭	場所／地名伝承地		○		-	-	-	-	-
			28	旭川市博物館	もの／展示施設・伝承品・出土品	○			○	○	○	-	-
		名寄市	29	北国博物館	もの／展示施設・伝承品	○			○	○	○	-	-
			30	名勝クツヌプリ(九度山)	場所／名勝ピリカノカ		○		-	-	-	-	-
		美深町	31	恩根内テッシ	場所／地名伝承地		○		-	-	-	-	-
	宗谷	稚内市	32	稚内市北方記念館	もの／展示施設・伝承品・出土品	○			○	-	○	-	-
			33	稚内市樺太記念館	もの／展示施設・伝承品	○			○	-	○	-	-
		枝幸町	34	オホーツクミュージアムえさし	もの／展示施設・伝承品・出土品	○			○	-	○	-	-
			35	名勝カムイェット(神威岬)	場所／名勝ピリカノカ		○		-	-	-	-	-
		浜頓別町	35	名勝カムイェット(神威岬)	場所／名勝ピリカノカ		○		-	-	-	-	-
道東	釧路	弟子屈町	36	屈斜路コタンアイヌ民俗資料館	もの・人／展示施設・伝承品	○		○	○	-	○	○	-
			—	史跡釧路川流域チャシ跡群	場所／チャシ跡		○		-	-	-	-	-
			—	地元アイヌの方々(伝承者)	人／重要無形民俗文化財アイヌ古式舞踊			○	-	-	-	-	-
		釧路市	37	阿寒湖アイヌシアターイコロ	もの・人／展示施設・伝承品・重要無形民俗文化財アイヌ古式舞踊	○		○	○	○	-	○	アイヌコタンに提供する店あり
			38	史跡釧路川流域チャシ跡群	場所／チャシ跡		○		-	-	-	-	-
			39	釧路市立博物館	もの／展示施設・伝承品・出土品	○			○	-	○	-	-
		白糠町	40	アイヌ文化活動施設ウレシバチセ	もの・人／展示施設・伝承品・重要無形民俗文化財アイヌ古式舞踊	○		○	○	要請があれば対応	-	要請があれば対応	祈願祭で提供
			—	シリエトチャシ跡、石炭岬チャシ跡	場所／チャシ跡		○		-	-	-	-	-
		根室市	41	史跡根室半島チャシ跡群	場所／チャシ跡		○		-	-	-	-	-
	根室	別海町	42	加賀家文書館	もの／展示施設・伝承品・出土品	○			○	-	○	-	-
			—	野付通行屋遺跡	場所／遺跡		○		-	-	○	-	-
		標津町	43	史跡 標津遺跡群伊茶仁カリカリス遺跡(ポー川史跡自然公園)	場所・もの／集落跡・チャシ跡・伝承品・出土品	○	○		○	-	○	-	-
			44	町指定史跡 タブ山チャシ跡	場所／チャシ跡		○		-	-	-	-	-
		羅臼町	45	羅臼町郷土資料館	もの／展示施設・伝承品・出土品・重要文化財松法川右岸遺跡出土品	○			○	-	○	-	-
	十勝	帯広市	46	帯広百年記念館 アイヌ民族文化情報センター リウカ	もの／展示施設・伝承品・出土品	○			○	○	○	○	市内にアイヌ料理を提供する店あり
			47	帯広カムイェットウボボ保存会／帯広市生活館(ふくろうの館)	もの・人／展示施設・伝承品・重要無形民俗文化財アイヌ古式舞踊	○		○	○	○	-	○	
			48	名勝ボロシリ(十勝幌尻岳)	場所／名勝ピリカノカ		○		-	-	-	-	
		中札内村	48	名勝ボロシリ(十勝幌尻岳)	場所／名勝ピリカノカ		○		-	-	-	-	-
	オホーツク	網走市	49	北海道立北方民族博物館	もの／展示施設・伝承品・出土品	○			○	-	○	-	-
			50	網走市立郷土博物館	場所・もの／チャシ跡・展示施設・伝承品・出土品	○			○	-	○	-	-
			51	史跡最寄貝塚	場所・もの／遺跡・展示施設・出土品	○	○		○	-	○	-	-
			—	史跡桂ヶ丘チャシ跡	場所／チャシ跡		○		-	-	-	-	-
		北見市	52	史跡常呂遺跡	場所・もの／遺跡・展示施設・出土品	○	○		○	-	○	-	-
		遠軽町	53	名勝インカルシ(瞰望岩)	場所／名勝ピリカノカ		○		-	-	-	-	-

※桃色塗りの市町村は、調査対象の中で、もの・場所・人の文化資源が揃い、観光的な受け入れが考慮されているもの。青色塗りの市町村は、もの・場所・人の文化資源すべてはそろっていないが、観光的な受け入れが考慮されているもの。

アイヌ文化伝承拠点地域・伝承地域 位置図



（２）広域連携、周遊促進のイメージ

これまでの整理を踏まえ、アイヌ文化伝承地域相互の連携の可能性について、大きく次の２つの側面から検討を行い、その連携の可能性を整理した。

- 観光周遊ルートとしての連携の可能性
- その他の連携の可能性

<観光周遊ルートとしての連携の可能性>

１）アイヌ文化資源の集積地（伝承拠点地域）をつなぐ観光ルート設定

アイヌ文化を訪ね歩くという設定に立ち、最も基幹的な観光ルートとして、アイヌ文化資源の集積した前述の伝承拠点地域をつなぐツアー商品が考えられる。これは、現在、白老町、平取町、札幌市、旭川市、釧路市の３市２町が取り組む「北海道ユーカラ街道」という形で実現化が進められており、今後の進展が期待されている。

２）アイヌ関連の特定テーマに沿った観光ルート設定

一方、アイヌ文化に密接に関わる資源や地域を一定のテーマや一定のストーリーのもとでつなぐ観光ルートも考えられる。その例として、以下のものがあげられる。

- ①松浦武四郎日誌をたどるルート(天塩日誌、知床日誌などから当時のアイヌ人の生活を偲ぶ)
- ②オホーツク街道ルート(司馬遼太郎の著書にもみられるオホーツク人とアイヌ人の足跡をたどる観光ルート)
- ③ピリカノカをめぐるルート(道内に 10 カ所のピリカノカ指定地や候補地をめぐるルート)
- ④コシャマイン、シャクシャインの戦いの古戦場をめぐるルート(中世アイヌの歴史ツアー)などが考えられる。
- ⑤地名伝承地を巡るツアー
- ⑥ユカラやサコロペなど、アイヌ伝承の場所を巡るツアー

３）主要ゲートウェイから周辺の多様なアイヌ文化資源をめぐるルート

北海道におけるアイヌ文化資源は全道的に散らばっており、到達までに相当時間がかかるため、興味はあっても簡単には訪ねられないというのが実態である。そのため、例えば、地方空港を出発点として、その空港から比較的近いエリアにあるアイヌ文化資源を周回する観光ルートが考えられる。さらに、この地域にある他の観光資源も組み合わせることで、より地域に密着した多様な観光ルートを設定することができる。

- ①旭川発(旭川空港)道北のアイヌ文化めぐりツアー
- ②釧路発(釧路空港)東北道のアイヌ文化めぐりツアー
- ③札幌発・白老発(新千歳空港)道央圏のアイヌ文化巡りツアー
- ④ 同上 道南圏のアイヌ文化巡りツアー

４）スタンプラリー型観光周遊旅行

スタンプラリーは、周遊を促進の常套手段の一つといえるが、うまくいけば効果的なプロモーション手段ともなる。昨年行われたゴールデンカムイ・スタンプラリーはその一つといえる

が、このほかに全道に 10 カ所のピッカノカ指定地をめぐるスタンプラリーなどが考えられる。

<その他の連携の可能性>

その他の分野での連携の可能性としては、以下のようなものが考えられる。

① プロモーション活動での連携

- ・アイヌ文化伝承地域が協力して、北海道のアイヌ文化を国内外に発信する仕組みをつくる。

② 展示面での連携

- ・白老以外の伝承拠点地域は、民族共生象徴空間のサテライト施設としての役割をもたせ、定期的に特別展示（巡回展）を行う。

③ 情報連携

- ・各伝承地域のトピックスやイベントなどの情報を一元化して、インターネットを通じて閲覧できるようにする。（アイヌ文化のポータルサイト）

④ ガイド研修での連携

- ・一般の方でアイヌ語を学習していた人たちによるボランティアガイド養成

アイヌ文化伝承地域の連携の可能性

アイヌ文化拠点相互の連携

- アイヌ文化伝承拠点地域

- ユーカラ街道(現在計画中)

アイヌ文化に関する新たな地域連携

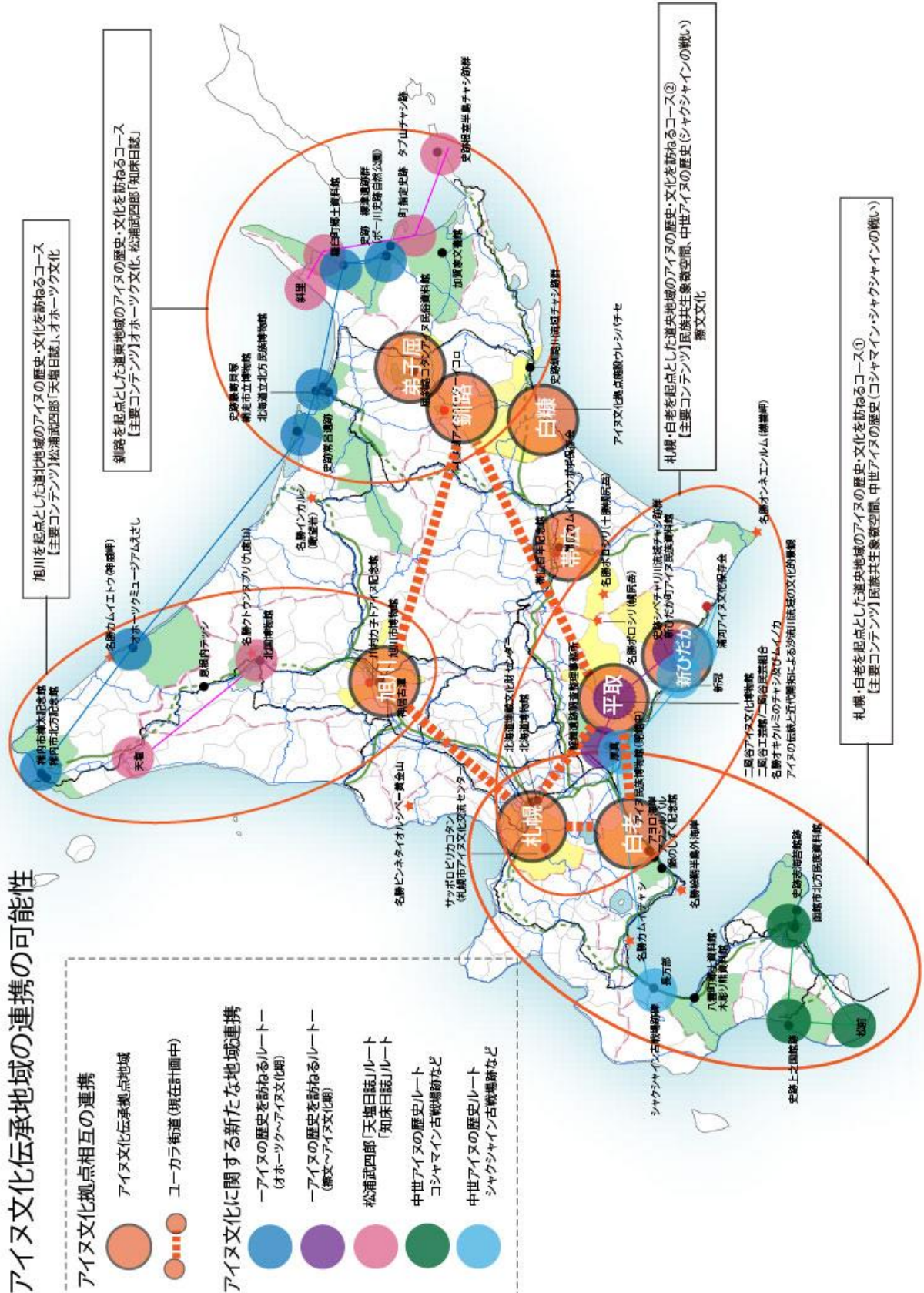
- アイヌの歴史を訪ねるルート—
(オホーツク～アイヌ文化期)

- アイヌの歴史を訪ねるルート—
(樺文～アイヌ文化期)

- 松浦武一郎「天壇日誌」ルード
「知床日誌」ルード

- 中世アイヌの歴史ルート

- 中世アイヌの歴史ルート
シャクシャイン古戦場跡など

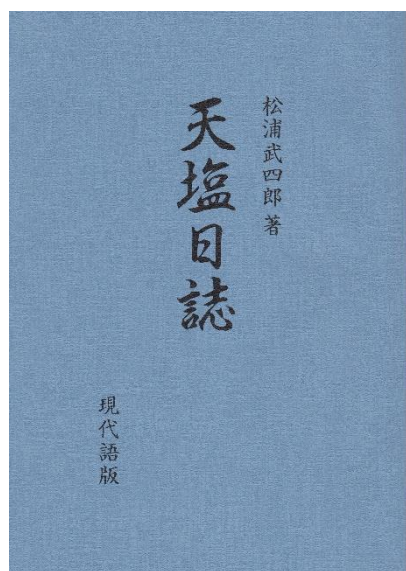


(参考) 松浦武四郎「天塩日誌」で知る江戸時代末期の天塩地域とアイヌの暮らし

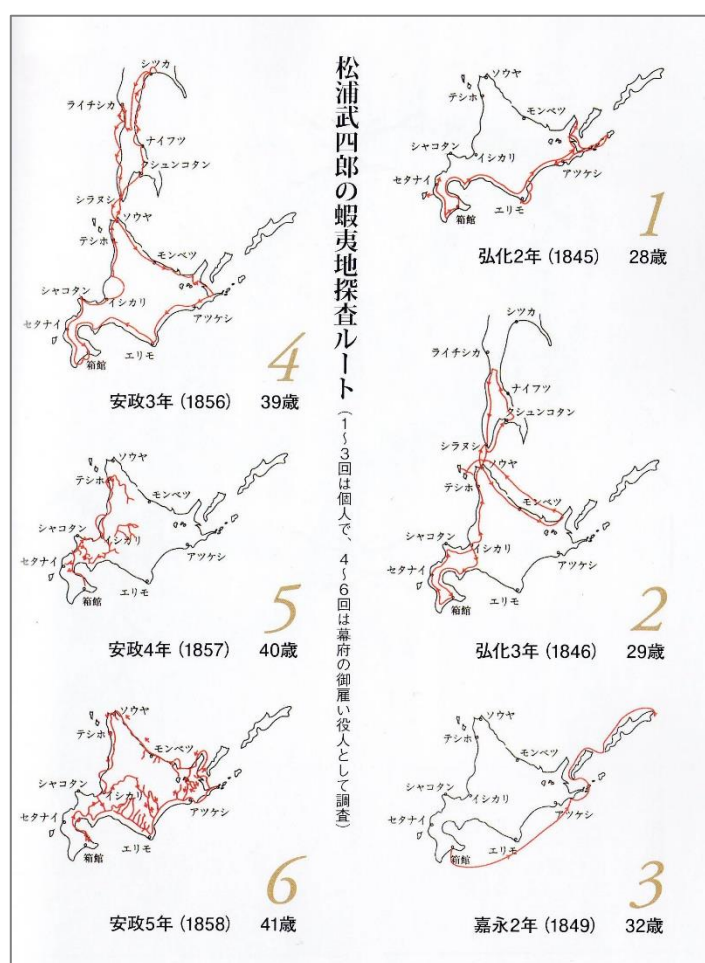
武四郎が書き残した「天塩日誌」は、安政4（1857）年の今から160年前の天塩川の姿を記しています。武四郎の北海道探検としては、5回目の調査にあたり、この年4月から5月にかけては石狩川、そして6月に天塩川を調査しています。

武四郎の天塩川探査に要した日数は、往復で24日間（安政4年6月7日に出発、同月30日に天塩に帰着）。「天塩日誌」は、それまで知られることのなかった蝦夷地最北端の内陸部の様子を詳しく観察し、川の流れや深さ、川岸の様子、自然や生き物をアイヌ語の地名とともに記しています。

——以上、「天塩日誌」（現代語訳編）解説文より引用

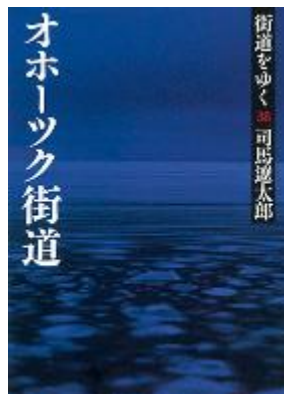


出典：上川総合振興局・北海道開発局
「天塩日誌」表紙



出典：山本命「松浦武四郎入門」月兎舎 2018

(参考) 司馬遼太郎「オホーツク街道」取材ルート



【旅の時期】 1991年9月、92年1月

【秋の旅】札幌の北海道開拓記念館で講演を聴き、同館学芸員の野村崇氏の同行で網走へ。網走観光ホテルに宿泊して、道立北方民族博物館、能取湖、サンゴ草のひろがる卯原内、サロマ湖、モヨロ貝塚、網走市郷土博物館などを訪れる。ウイルタの資料館「ジャッカ・ドフニ」で北川アイさんに、登呂遺跡で東大考古学研究室の宇田川洋氏に会う。

【冬の旅】札幌から特急列車で約6時間の稚内へ。サロベツ原野を目にしつつ南稚内に到着。飲み屋街を訪れ、水蛸のしゃぶしゃぶを堪能。抜海岬、野寒布岬、声問岬と岬めぐりをし、オンコロマナイ遺跡を訪れ、宗谷丘陵を通過して最北端の宗谷岬へ。間宮林蔵の碑、海軍望楼跡を見て、北方40キロの樺太と韃靼大陸に思いを馳せる。猿払村、浜頓別、枝幸町とオホーツク海沿岸を南下。目梨泊遺跡の発掘調査作業所、雄武町の興部警察署幌内警察官駐在所を訪ね、紋別市のオムサロ遺跡公園、オホーツク流氷科学センターをめぐるから網走市へ。小清水を経て斜里町で津軽藩史の慰霊碑をまわり、旅の最終地である知床半島へ。

出典：司馬遼太郎「街道をゆく」 公式ページより 朝日新聞出版

(参考) アニメ「ゴールデンカムイ」スタンプラリー

北海道はゴールデンカムイを応援しています。

スタンプラリー

開催期間
2018年8月19日(日) ▶
2019年3月31日(日)

北海道のチェックインスポットで
キャラクターのマイARをゲット!!

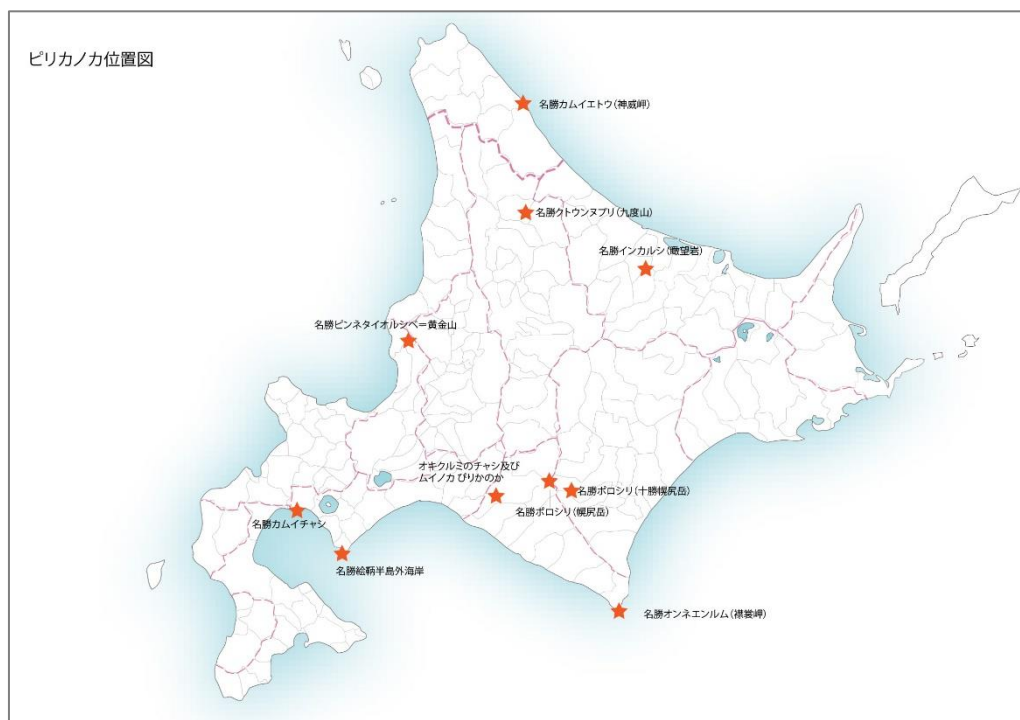
各チェックインスポットに掲示されているポスターからQRコードを読み取って、キャラクターと一緒に記念撮影ができる!!

スタンプラリーを遊ぶには
スマホアプリ「黄金めぐり」を
ダウンロードしてください。
詳しくは開催案内をご覧ください。

チェックインスポット施設情報

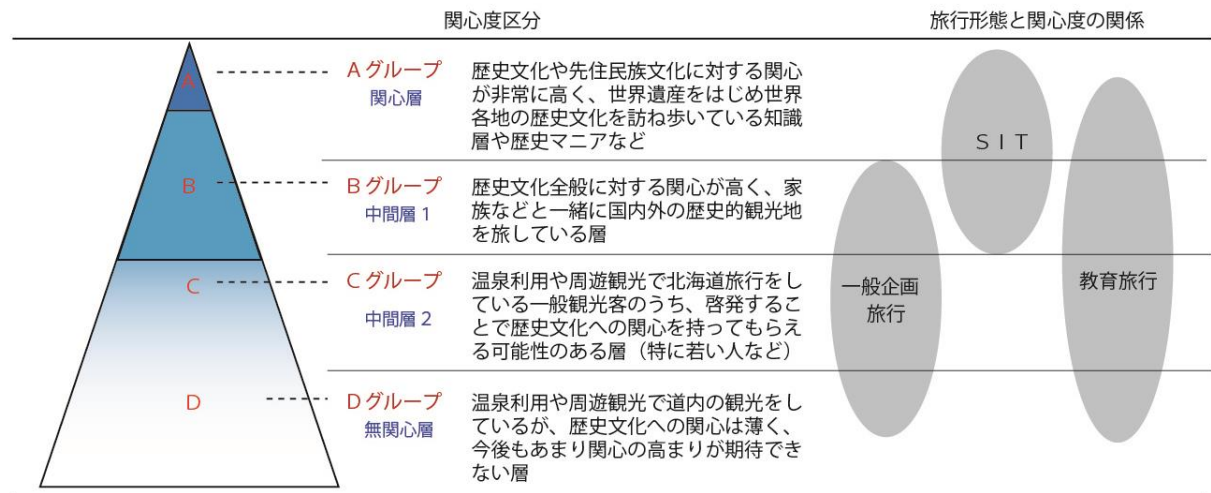
施設名	開催時間	入館料	休館日
小樽市総合博物館 本館	9:30~17:00	一般400円(4名3000円) 高校生(高校在学中の7月以降)1200円(4名1500円) 中学生以下無料	大晦日(当日の場合は翌日)
小樽市総合博物館 運河館	9:30~17:00	一般300円 高校生(高校在学中の7月以降)150円 中学生以下無料	休館日はありません
北海道博物館	5月~9月 9:30~17:00 10月~4月 9:30~16:30	観覧料(観覧料+特別展は別料金となりますのでホームページでご確認ください)	月曜日(祝日の場合は翌日)
北海道開拓の村	5/1~9/30 9:00~17:00 10/1~4/30 9:00~16:30	一般600円 大・高校生500円 中学生以下・65歳以上は無料	5月~9月は開館 10月~4月は休館日(祝日の場合は翌日)
サッポロビール博物館	11:00~20:00	無料(飲料・デザート・おつまみ・プレミアムアール・ド・フランスが楽しめます)	月曜日(祝日の場合は翌日)は自由席のみ可能
月形博物館	9:30~17:00(入館は16:30まで)	一般300円 大・高校生150円 中学生以下100円	4月~11月は休館 12月~3月は冬期休館
平取町立二風谷アイヌ文化博物館	9:00~16:30	大人400円 小学生150円	ホームページでご確認ください
夕張市石炭博物館	4月~9月 10:00~17:00 10月~10:00~16:00 (最終入館は閉館時間の30分前迄)	大人1,080円 小学生450円 高校生500円 中学生500円 小学生500円 小学生500円	大晦日(休館日は休館となります)
釧路市立博物館	9:30~17:00	一般470円 高校生250円 小学生110円	月曜日(祝日の場合は翌日、冬期間は休館となります)
阿寒湖アイヌシアター「アイコ」	ステージ内席や特別席はホームページでご確認ください	大人(中学生以上)1,080円 小学生540円	ホームページでご確認ください
旭川市博物館	9:00~17:00	大人300円 高校生200円 小学生100円	ホームページでご確認ください
博物館 網走監獄	5月~9月 8:30~18:00 10月~4月 9:00~17:00	大人1,080円 大・高校生750円 小学生340円	年中無休

(参考) ピリカノカ位置図



(3) アイヌ文化観光で想定するターゲット

アイヌ文化のターゲットイメージと、それにふさわしいアイヌ文化資源



旅行区分	主なターゲット	主な興味対象・訴求の方法	アピールする資源イメージ
一般企画旅行	B、C層	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の自然景観や特徴的な観光施設を巡り歩く人たち。観光対象に関しては、施設の充実度やアクセスのしやすさ、利便性、感動的なイベントなどが重要な要素となる。 ・アイヌ文化資源の効果的な組み合わせにより、北海道旅行全体の多様性と広がりが生まれる。 	<p>有名観光地に存在するアイヌ文化資源をツアーの中に組み込み、ツアー内容の質を高める。また、アイヌ民族への関心が高い欧米系の外国人旅行者も今後期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・函館市北方民族資料館（函館元町） ・名勝オンネエヌルム（えりも岬・展望施設） ・名勝絵鞆半島外海岸（地球岬）など
SIT	A、B層	<ul style="list-style-type: none"> ・学術的価値、希少性の高い資源や文化財を強くアピールすることが必要。 ・そのための交通アクセスや施設の利便性、説明等の少なさはあまり影響しない。 	<p>チャシ跡、遺跡・出土品、ピリカノカ等、ややマニアックなものへの興味が大い人々たちで、旅のオピニオンリーダーとなってくれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡根室半島チャシ跡群 ・シャクシャイン古戦場跡碑 など
教育旅行	A、B、C層	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層を主体にアイヌ文化に対する関心層の幅を広げる意味で、教育旅行は重要。今後、その取り組みを充実することが必要。 ・推進に向けては、特に体験型プログラムやアクティビティ等のコンテンツの充実、新規開発が求められる。 ・一定の規模の人数や大型バスが収容できる駐車場などハード面での環境整備が求められる。 	<p>ガイドによる展示施設案内、古式舞踊やムックリ等の演奏、アイヌ文様刺繍・彫刻等の体験プログラム等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿寒湖アイヌシアターイコロ（人形劇等） ・二風谷アイヌ文化博物館 ・川村カ子トアイヌ記念館 など

一般企画旅行： パッケージツアーなど。バスツアーやレンタカーのモデルコースを想定

SIT： 特別な目的に絞った旅行のこと。Special Interest Tour の頭文字の略

教育旅行： 学校行事の旅行（遠足）・集団宿泊の行事である修学旅行、遠足、移動教室、合宿、野外活動など

4. 伝承拠点地域の展開方向のイメージ（ロードマップイメージ）

<伝承拠点地域>

調査対象とした伝承地域のうち、アイヌ文化資源の人ともの、あるいは人と場所、または人、もの、場所がそろっている地域を伝承拠点地域として、さらに、展示施設や体験プログラム、案内ガイド、古式舞踊等の伝統芸能や儀式の披露、アイヌの伝統料理のいずれかの受け入れが比較的整っている9つの伝承拠点地域について、今後の展開方向のイメージ(ロードマップイメージ)について検討した。

表 3-3 伝承拠点地域の概要

伝承拠点地域名	アイヌ文化資源と関連施設、サービス等全体の概況
白老町	・国家プロジェクトとして民族共生象空間が整備されており、年間 100 万人の国内外の来訪者を迎えることが目標とされている。国内はもとより国際的なアイヌ文化発信拠点となっていくことが想定される。
平取町	・アイヌ文化資源の「人」「もの」「場所」がそろっており、博物館を出たフィールドで体感できる景観資源に恵まれている。また、伝統的工芸品作家が制作しており、その作品の見学ができる。体験プログラムが豊富に用意されている。
新ひだか町	・近世最大のアイヌ民族蜂起といわれるシャクシャインの戦いのリーダーの居城とされるチャシ跡があり、毎年シャクシャイン法要祭が営まれ、全国から参列者が集まる。
旭川市	・アイヌ民族により運営され豊富な体験プログラムが用意されている施設や展示・教材等が充実した市立博物館、地名伝承地など、市内に多様なアイヌ文化資源が点在する。立地的にも道央、道北、道東を結ぶ位置にあり、道内の周遊拠点のひとつとなっている。
弟子屈町	・阿寒摩周国立公園の自然資源を主力とした観光温泉地でもあることから、これらの観光資源(アクティビティ、宿泊施設等)とアイヌ文化資源を結びつけたコンテンツ等が検討できる。
釧路市	・阿寒湖畔のシアターやアイヌコタンは、阿寒湖畔での重要な観光資源として位置づけられ、来訪者ほぼ毎日古式舞踊等のアイヌ文化にふれることができる。道東のアイヌ文化拠点として、根室や網走方面との連携が期待される
白糠町	・いわゆる観光地ではないが、伝承地やチャシ跡、クジラにまつわる古式舞踊が伝承されているなど、道東沿岸部の特徴あるアイヌ文化資源が町内に点在している。隣接の釧路市街を宿泊拠点としたり、釧路港停泊のクルーズ対応も可能な立地にある。
帯広市	・博物館での普及活動が盛んにおこなわれ、伝承団体も道内外に披露へ出かけるなど活発に活動している。十勝管内のアイヌ文化拠点地域として、情報発信の役割が期待される。
札幌市	・道内最大の観光拠点であり、アイヌ文化の展示施設や動物園、美術館等の文化施設も集積する。道内各地のアイヌ文化施設や資源の発信拠点としての役割が期待される。

表 3-4 伝承拠点地域の展開方向

伝承拠点 地域 (市町村)	受け入れ可能な ターゲット (前項のターゲット層)	事業 領域	観光の推進に向けた主な事業推進目標	実施スケジュール		
				短期 (～ 2020)	中期 (～ 2025)	長期 (～ 2030)
白老町	A～D 民族共生象徴空間の整備により専門家から小学生の教育旅行まで幅広い受入れがなされる。	資源	・民族共生象徴空間と連携して活用できる資源の発掘、検討	⇒⇒⇒		
			・民族共生象徴空間と連携して活用できる資源の効果的な提供方法の確立	⇒	⇒⇒⇒	
		受入	・民族共生象徴空間来訪者の町内受入れ体制の確立（アクセスルート、三次交通等）	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	
			・中長期的な視点から、白老町における宿泊施設等観光インフラの充実、駅周辺開発、商店街の環境整備等		⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
		誘致	・民族共生象徴空間の国内外のプロモーション活動の実施	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	
			・長期的な戦略による外国人旅行者のプロモーション活動		⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
平取町	A～C 小学校の教育旅行から専門家まで幅広い受入が可能。	資源	・伝統工芸や古式舞踊等の伝承者の育成、連携	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
		受入	・観光案内所の整備、充実を図り、個人旅行者の受入体制の確立	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	
			・外国人旅行者を意識した二次交通の確保	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
新ひだか町	A～B シャクシャインを知る関心層のほか、日高観光資源と結びつけた誘客が期待される。	資源	・古式舞踊等の伝承者の育成 ・シャクシャインに関する文化資源及び法要祭との連携、シャクシャイン関係地域との連携によるストーリー構築	⇒⇒⇒ ⇒⇒⇒	⇒⇒⇒ ⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
		受入	・ガイド育成 ・資料館等の文化資源へのアクセス、案内整備	⇒⇒⇒ ⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
		誘致	・シャクシャイン拠点地居城のアピール ・民族共生象徴空間と連携した外国への情報発信	⇒⇒⇒ ⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
旭川市	A～C 小学校の教育旅行から専門家まで幅広い受入が可能。	資源	・アイヌ文化伝承者の育成、連携 ・旭川市内にあるアイヌ文化資源・施設の連携、ストーリー化による新たなアイヌ文化観光の魅力の創出	⇒⇒⇒ 体制づくり	⇒⇒⇒ 試行	⇒⇒⇒
		受入	・市内の資源を案内するコーディネーター、ガイドの育成	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
		誘致	・外国人向け広域観光周遊ルート（旭川市は東ルート、北ルートの両方に入っている）のプロモーション活動において旭川のアイヌ文化を積極的に PR	⇒⇒⇒ 戦略作成	⇒⇒⇒	
弟子屈町	A～B カヌー等の自然ガイドとの連携により新たな旅行者の受入れが期待される	資源	・アイヌ文化伝承者の育成、連携 ・松浦武四郎に関する交流機会を活用したプログラム企画 ・釧路川流域のチャシ跡群の活用（カヌーツアーとの連携等）	⇒⇒⇒ ⇒⇒⇒ ⇒	⇒⇒⇒ ⇒⇒⇒ ⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
		受入	・案内ガイドの育成 ・アウトドアガイドへのアイヌ文化やチャシ跡等の研修会	⇒⇒⇒ ⇒⇒⇒	⇒⇒⇒ ⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
		誘致	・国立公園満喫プロジェクトと連携した外国人旅行者へのプロモーション	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	

伝承拠点 地域 (市町村)	受け入れ可能な ターゲット (前項のターゲット層)	事業 領域	観光の推進に向けた主な事業推進目標	実施スケジュール		
				短期 (～ 2020)	中期 (～ 2025)	長期 (～ 2030)
釧路市	A～D 人形劇等による小学生の教育旅行から、チャシ巡り等、愛好家や専門家までの受け入れが可能。	資源	・ 古式舞踊や木彫りの伝承者の育成、連携 ・ アイス舞踊等のパフォーマンスの向上 ・ 新たなアイヌアートの創出 ・ 釧路川流域のチャシ跡群の活用（カヌーツアーとの連携等） ・ 国立公園の自然ガイドへアイヌ文化の組み込み、説明内容の更新	→→→ →→→ →→→ フォレストアートイベント	→→→ →→→ →→→	→→→
		受入	・ 阿寒湖及び釧路川流域のアイヌ文化を総合的に案内するガイドの育成 ・ 外国人富裕層の受け入れ（多言語対応を含む高品質なもてなし）	→→→ →→→	→→→ →→→	→→→ →→→
		誘致	・ 外国人向け広域観光周遊ルートのプロモーション活動において、阿寒湖及び釧路川流域のアイヌ文化を積極的に PR ・ アドベンチャーツーリズムの主要コンテンツとしての海外アピール	→→→ →→→ 戦略作成	→→→	→→→
白糠町	A～B 町が関係する学校や団体、アイヌ文化に関心のある団体の研修等の受け入れが可能。	資源	・ アイヌ文化伝承者の育成 ・ 儀式イベントと連動したツアー企画 ・ 地域の伝承地やチャシ跡を組み合わせたツアーやプログラムの企画	→→→ →→→ →→→	→→→ →→ →→	→→→
		受入	・ 伝承地やチャシ跡等の地域資源を案内できるガイド育成	→→→	→→→	→→→
		誘致	・ 釧路市と連携したクルーズ客の誘致 ・ 首都圏へのプロモーション	→→→ →→→	→→→ →→→	→→→
帯広市	A～C 小学校の教育旅行から専門家まで幅広い受入が可能。	資源	・ アイヌ文化伝承者の育成	→→→	→→→	→→→
		受入	・ 伝承団体による定期的な披露機会の設定（十勝川温泉での披露イベントや練習場での披露公演など）の検討	→→→ →→→	→→ →→	
		誘致	・ 伝承団体の活動やピッカノカ等のPR	→→→	→→	
札幌市	A～C 小学校の教育旅行から専門家まで幅広い受入が可能。	資源	・ アイヌ文化施設や動物園や美術館等との連携による企画等	→→→	→→	
		受入	・ アイヌ文化について案内できるガイドの育成 ・ 札幌市内のアイヌに関する展示や関連施設のデータ（HP等）整備	→→→ →→→	→→→ →→→	→→→
		誘致	・ 市内に点在するアイヌ文化施設、また関連イベント等の情報発信 ・ 北海道の観光拠点地として、観光案内所での道内アイヌ文化施設のPR	→→→ →→→	→→→ →→→	→→→ →→→